

2024年8月

物理量

物理の基本ですが、質量と重量（重さ）の違いを意識されたことはありますか。

質量は物体そのものが持っている量で、重量は物体に働く重力です。化学では原子量という単位が基本になりますが、これは質量の単位です。つまり、全ての物には固有の質量があるということですが、重さは重力によって違いがあり、月では地球上の6分の1になり、無重力状態では全ての物がゼロになります。しかし質量はどこであろうと変動がなく、消えることもありません。質量は固有の固定値なので、単位はkg、重量は変動する力なので、力の単位N（ニュートン）になります。益々混乱しますね。

何が言いたいのかと言いますと、物の見方のことです。世界は様々な物でできていますが、それぞれに固有の質量があり、特徴があります。そしてそれらが合体して新たな物質となり固有の質量を持ちます。世の中は固有の質量の関わり合いで成り立ちます。従って質量に目を向けると、一つ一つが違って捉えられ、それぞれを尊重して大切にするという心が育ちます。生き物も質量を持った分子の動きです。

物を大切にすることは、心にも作用します。心には神経伝達物質が関係します。これも物質です。したがって自律神経を整えることにも繋がるのです。

